

今号の もくじ

食中毒の予防についてP.1
地域医療連携室のご紹介P.2
フットケア外来についてP.2

診療時間外の呼吸器診療についてのご案内P.3
手術実施症例数P.3



食中毒予防について

消化器内視鏡医長 浅本泰正



食中毒とは、有毒な微生物や化学物質を含む飲食物を食べた結果生じる健康障害です。多くは、急性の胃腸障害（おう吐、腹痛、下痢などの症状）をおこします。原因としては（図1）、約7割はウイルス性、約2割は細菌性で、ウイルス性によるものが最も多いのが特徴です。

発症時期を月ごとにみると、11月から3月にかけて多く発生していることがわかります。昔は、寒い季節には食中毒が発生しにくいと考えられていました。しかし、寒い季節にも起こるウイルス性の食中毒もあることがわかってきました。代表的なものとしてノロウイルスが有名です。最近（細菌）は、冬でも暖房で部屋の中が温かいので、細菌性の食中毒にも注意が必要です。5～9月は、湿度や気温が高く、とくに細菌性の食中毒に注意が必要です。

感染症研究会による感染性腸炎の動向によると、カンピロバクターが最も多く、2004年以降増加傾向を認めており、当院でも2013年5月だけでも2例の症例を認めています。レバーの生食が禁止されて以降、腸管出血性大腸菌の感染例は減少傾向にあります。しかしながら、抗菌薬に耐性の細菌は増加傾向で、この点について注意が必要です。

当院では、食中毒のみならず、すべての感染症において、原因微生物の同定、および抗菌薬の適正使用に注力し、食中毒を含めた感染症診療に注力しております。

食中毒予防の三原則は、原因となるウイルスや細菌を「付けない、増やさない、やっつける」です。手指衛生などをきちんと行い、家庭から食中毒をなくしましょう。

図1. 食中毒の原因（平成24年）

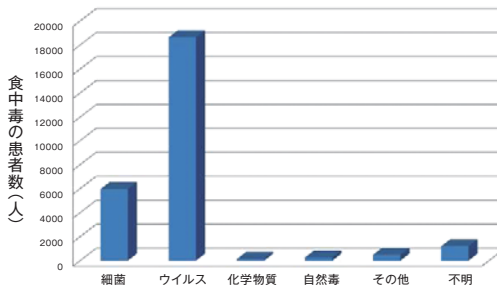


図2. 月別食中毒患者数（平成24年）

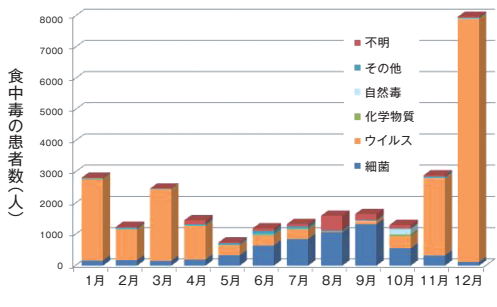


図1、図2:農林水産省ホームページより引用

患者さまの 権利と責任

1. 個人の尊厳は尊重され、最善で平等な医療を受ける権利を有します。
2. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を有します。
3. 治療に関する方法を、自己の意思で決定する権利を有します。
4. 個人の情報（プライバシー）が、保護される権利を有します。
5. 医療関係者との信頼関係に基づき、医療への参加の責任を有します。

当院では、患者さまと医療者のパートナーシップを大切にしています。
患者さまと医療者がお互いに協調し、良好な関係を築いてゆきたいと考えています。



地域医療連携室のご紹介

地域医療連携室 室長 神田さき子



地域医療連携室という名前を聞いたことがありますか?あまり聞き慣れない、地域医療連携室で「何をしてるの?」と思われた方にどのような事をしているのか紹介させていただきます。

相談窓口

吉島病院を利用してくださる患者さまやご家族が、安心して療養生活が送れるように、様々な相談に応じています。

退院支援

患者さまが住み慣れた地域で生活できるように、皆さんの近くのお医者さんとも連携を取り合い、また福祉などのサービスも利用しやすいようお手伝いをしています。

外来・入院の予約受付

地域の診療所・病院の先生方からのご紹介により、患者さまの受診・入院の予約をお取りしています。

健康教室の開催

年1回「健康教室」で、色々な病気の話や、体力測定、医療・介護の相談、歌を歌うなど、患者さまや地域住民の方に健康増進のための教室を行っています。

地域医療連携室では患者さまご家族、地域の皆さま、他の医療機関の方との連携をスムーズにとれるようお手伝いをしています。



フットケア外来について

外来師長 高本真由美



糖尿病では、「神経障害」や「血流障害」によって足にたこや潰瘍ができることがあります。糖尿病の神経障害は発症してから3年～5年で出現することが多く、神経障害によって痛みが感じにくくなる事や靴下を脱いで足を診察する機会が少ないため、足病変の発見が遅れることがあります。足の神経障害は、自分で分からないうちに進行しています。進行すると足の切断を余儀なくされる場合もあります。そのため、糖尿病に伴う足病変の予防と早期発見することを目的として開設したのがフットケア外来です。

フットケア外来は医師でなく、フットケアの研修を受けた当院の糖尿病委員会の看護師が担当しています。足のことだけでなく、糖尿病に関する日常の小さな相談にも担当の看護師が対応しています。フットケア外来は、月曜日の午後、3名1回30分の予約制で行っています。費用は保険適応となります。糖尿病患者さんの足を守るとともに、療養生活のお手伝いをさせていただきたいと感じています。糖尿病患者さんの足を守るとともに、療養生活のお手伝いをさせていただきたいと感じています。糖尿病療養中のみなさま、足にたこや水虫はありませんか?巻き爪はありませんか?長歩きが難しくなっていませんか?足病変に不安を感じられる方、是非主治医の先生にご相談ください。フットケア外来のご利用をお待ちしています。

足をよく観察する



血流障害

ケガが治りにくい、壊疽

抵抗力の低下

感染症にかかりやすく、化膿しやすい

神経障害

ケガやヤケドに気付きにくい

診療時間外の呼吸器診療についてのご案内

呼吸器センター長 大成亮次



呼吸器センターでは、呼吸器内科と呼吸器外科が協働して診療にあたっています。

このたび、通院されている患者さまや、かかりつけ医の先生方のご要望にお応えするかたちで、診療時間外（夜間ならびに休日）にも、専門的な呼吸器診療を提供できるように、診療体制の見直しをおこないました。その一環として、呼吸器センターの医師が不在の時間帯であっても、日当直医の要請に応じて、呼吸器センターの所属医師が交代で、専門的な呼吸器診療をバックアップする体制がスタートしました。これによって、診療時間外であっても、呼吸器診療に関しては、呼吸器センターの医師が関わることになります。

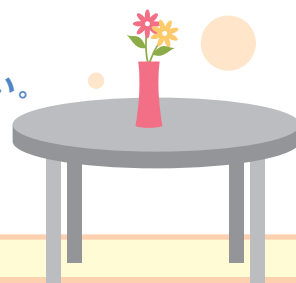
呼吸器センターでは、皆さまの様々なご相談や処置が必要な専門的な診療のご依頼に対し、可能な限りお応えしてまいりたいと思います。皆さまのご理解とご協力をあらためてお願い申し上げます。

かかりつけ医の先生方へ

呼吸器診療のご相談は、“呼吸器センター”まで、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

吉島病院 呼吸器センター宛 TEL (082) 241-2167



手術実施症例数【平成24年】 期間:平成24年1月～平成24年12月

当院では厚生労働大臣が定める施設基準に適合している手術として中国四国厚生局に届出を行っております。

外科手術【手術総数:291件】 呼吸器 95例／消化器 49例／甲状腺 36例 他

●施設基準に適合している手術（肺悪性腫瘍手術等）

術式	件数
肺悪性腫瘍手術	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	41
肺切除術	1
膿胸膜、胸膜肺胝切除術	2
胸壁悪性腫瘍手術	0
胸郭形成術（膿胸手術）	0

●左記以外の手術

術式	件数
胸腔鏡下肺切除術	51
甲状腺悪性腫瘍手術	30
直腸・結腸切除術（腹腔鏡下含む）	20
胆嚢摘出術（腹腔鏡下含む）	21
胃切除術	8
その他の手術	116

眼科手術【手術総数:836件】

●施設基準に適合している手術（黄斑下手術等）

術式	件数
黄斑下手術	1
硝子体茎頭微鏡下離断術	174
増殖性硝子体網膜症手術	0

●左記以外の手術

術式	件数
水晶体再建術	525
緑内障手術	70
硝子体置換術	5
その他の手術	61

整形外科手術【手術総数:49件】

術式	件数
骨折観血の手術	17
人工骨頭挿入術	10
関節鏡下手術（膝）	6
人工関節置換術（膝）	4

術式	件数
その他の手術	12